

Vol.140

2012

タウン
情報

世帯数	3,118
人口	7,892
男	3,796
女	4,096

(5月末現在の地区人口)

きくがわ



特別寄稿

夏の思い出。菊川の思い出。

発行:住みよい菊川をつくる会 事務局:菊川公民館 0834-62-2801 写真:菊川子ども会キャンプ(場所:四熊小)

夏祭りカレンダー ※日程は変更の場合があります。

地区	日	場所
加見	8月11日	加見公園
下上	8月12日	菊川公園
四熊	8月13日	四熊公民館
小畑	8月14日	小畑小学校



放流のようす

住みよい菊川をつくる会
総会報告

4月22日(日)に菊川地区の自治会長が出席のもと、住みよい菊川をつくる会の総会を開催しました。

総会では23年度の事業報告と決算、24年度の事業計画と予算が承認され、新役員として小林雄二新会長が選出されました。

富田川にアユ放流

5月8日(火)に菊川幼稚園と菊川保育園の園児たちが富田川へアユの稚魚を放流しました。この事業は市観光交流課と「菊川親水会」が主体となり、毎年行われている事業です。園児たちはアユが富田川へ戻ってくることを願いながら稚魚を川へ放ちました。

夏休み版子ども教室案内

夏休みのきくがわハハクラブ

日頃の放課後教室への登録に関係なく参加できます！

講座名	日時	対象	定員	内容	講師	参加費	参加方法
菊川寺子屋	7/23(月)~7/31(火) ※土日のぞく 10時~12時 13時~16時	小中高生	制限なし	原則自主学习です。地域のボランティアや、高校生が学習をサポートします。	ボランティア講師(教職OBや高校生)	なし	登録制 ※当日の申込は不要出入自由。
木工チャレンジ	7/24(火) 10時~12時	小学生	20名	昆虫の飼育箱を制作します。	小畑木工クラブ	500円	学校で配布される開催案内に沿ってお申込みください。
絵画教室 ~先生は高校生~	7/30(月) 13時~16時	小学生	20名	夏休みの絵画に取り組みます。	新南陽高校美術部	なし	
ハンドクラフト	8/2(木) 13時~15時	小学生	20名	ビーズを使ったアクセサリーを作ります。	田村美代子	300円	

※上記は予定です。詳細は小学校を通じてお子様へ配布いたしますのでよくお読みください。

5月3日(木)晴れ
とし子さんと菊川公園に行きました。びっくりしました。ブランコとすべり台のまわりはおやつを食べた後の袋、ペットボトル、空き缶が散らかりごみだらけ。
駐車場にはタバコの吸い殻や弁当の空き箱が。
花壇は雑草が生い茂り、以前の手入れの行き届いた、美しい公園の面影はありません。
「こんな立派な公園があるのにもったいない。何とかならんかね」と、とし子さん。「公園が泣いちゃうよ」と、私。荒れ果てる公園を見つめる二人でした。



菊川公園はゴミが散乱

菊川
日和

菊川のひと

写真に魅せられた60年。

小川 照彦さん

写真を撮るようになったのはいつから？
 —17歳のころに叔父の影響で始めました。当時は蛇腹のある手動カメラで、カメラを持つていたことが珍しい時代でした。タバコが1箱30円の時代に3万円もするカメラを月賦で買った記憶があります。
 —どんな写真を撮られるのですか。
 —風景を主に撮っています。人物を撮ることはほとんどありません。全国はもろろんですが、海外に撮影しに行くことも多いです。



現在カメラは何台くらい所有されていますか。
 —デジカメを入れると30台くらいでしょうかね。場面に応じた癖を持つカメラを選んでいきます。手入れを欠かしたことはありませんよ。
 —今もフィルムを使われているのですか。
 —はい。デジカメはあくまでサブ機として使っています。フィルムはすごく技術がいりますが、光や色合いを自由に扱ったり、ぼかしたり出来る点が醍醐味です。納得の行く天気や光に恵まれない場合はシャッターを切らずに帰ることもあります。
 —写真の魅力を教えてください。
 —健康のバロメータでもありますし、全国各地で新しい出会いがあつて新しい友人が次々と出来ることです。友人が増えて色々な情報が入ってくるので、行く場所も増えるんですよ。あとは現像に出して、どんな写真に仕上がっているかを毎回楽しみにしています。
 —最後にこれからの目標を教えてください。
 —昨年光画会で3位をいただきましたが、二科会や光画会で毎年入選したいですね。
 今日はあるがとつございました。活躍を期待しています！
 —ありがとうございます！

笑顔リレー

かわいい笑顔を集めてみました。掲載可能な写真がありましたら、一言コメントを添えて広報部（菊川公民館内）までご連絡ください。



果那ちゃん(1才) 紗矢ちゃん(4才)



「仲良し兄妹!!」 菜愛ちゃん(3才) 翔愛くん(5才)

特別寄稿

夏の思い出。菊川の思い出。

青空にギラギラ照らす太陽と白い雲が浮かぶと、遠い日の夏の思い出がよみがえる。

7月になると、夏休みが待ち遠しく、勉強をするより自由に遊ぶことが多かった。昔は、菊川にも、川遊びに最適な深くて水量も多い大きな淵が有り、かんかん照りの暑さを癒すには川の水の冷たさが気持ち良かった。白パンツか褌（ふんどし）の姿で夏を過ごし、2学期が始まると日に焼けた健康的な色で登校をした。夏のおやつは、アイスクャンデーで、暑い日差しの中で食べるのが楽しみであった。

事件が起きたのは、そんな夏の川遊びの最中だった。いつも友達「金ちゃん」を誘って、行きも帰りも一緒に川へ行った。金ちゃんは金槌だったので川岸で水に浸かり人の泳ぎを見るだけであった。しかし、ある日突然バタバタと勢よく手足を動かしている。上手になったと一瞬勘違いしたが、これは溺れており、すぐ沈み始めた。



「大変だ 誰か助けて！」と呼ぼうとした時、見張り役をしていた茂ちゃんがすぐに気が付き救助してくれた。命を救ってくれた事に感謝して、

金ちゃんは、「私が命拾いしたのは、茂ちゃんのお陰だ」と感謝の気持ちをいつも言っていた。残念ながら、昨年その金ちゃんも天命を全うして亡くなってしまった。
 今は、川遊びは危険として禁止されているが、何もない時代には、金も掛からず、自然と一体になり、心身を鍛え、夏の思い出として、楽しい出来事であった。(藤井 逸郎)

菊川 探訪

～第9回～

上野八幡宮の鐘

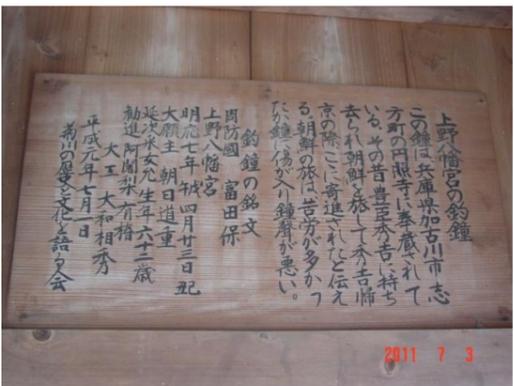


円照寺の梵鐘(神戸新聞から引用)

童謡「夕焼け小焼け」の様な鐘の音が、上下地区の村々に、鳴り響いていた時代があった。また、大晦日に、村々にこだまする除夜の鐘の音を想像すると風情がある。

この鐘は、市指定文化財の「遠石八幡宮の洪鐘」の製作年(1320年)より少し新しいが、陶氏全盛の1498年の銘文がある。現在は、数奇な運命を辿り、兵庫県加古川市の「円照寺」に奉納されている。八幡宮の宮司も、現物を確認し、叩いて音色も聞いている。円照寺を調べると、住職は「1587年豊臣秀吉の軍が、九州へと島津征伐に赴く際、戦場で使用する陣鐘として、周防国の上野八幡宮から、徴用した」と述べている。この梵鐘は、高さ約1mと小ぶりながら迫力を感じさせ、駒のつめの部分には無数の凹凸と小さなひびもある。その為、大晦日にだけ、出来るだけ優しく叩いて、大切にしているとのことである。

どの様な経緯で、現在に至ったかは、数説の伝説が残る、真相は難しい。梵鐘の傷が苦勞に苦勞を重ね、生き続けた証拠である。遠くの故郷に想いを込めた音色を、1年に1回だけ、新年の祈りと共に夜空に向けている。



釣鐘の銘文の全文(上野八幡宮の説明文)

◆円照寺メモ

花の寺といわれるほどに境内には四季折々の花が咲き誇る。本堂では定期的にコンサートや作品展が開催されている。

住所：兵庫県加古川市志方町広尾 1029

TEL：079・452・2067